



ご質問 必須事項である「六大陸・三海洋」をはじめ、世界をめぐる学習を、“型どおりに身につける”だけでなく、地図帳を活用し、“子どもらしいイメージ”ですすめたいのですが…。

回答者 東京学芸大学 名誉教授 次山 信男

さまざまに広がる

子どもらしい“世界のイメージ”を！

学習指導要領によれば、5年生の社会科の内容に「世界の主な大陸と海洋、主な国の名称と位置」をあげ、「地図帳や地球儀…」を活用して学習するように示されています。ここでも、それを“型どおりに身につける”のではなく、4年生の「都道府県の名称と位置」の学習がそうであったように、“子どもらしいイメージ”を繰り返しながらすすめたいものです。

子どもたちの日常を見ていると、具体的な“もの”（実物や模型）、“映像”（テレビや写真）、“読み物”（本やマンガ）などとの出会いから、その子らしいイメージ（心象）をつかんだり、広げたりするようすがうかがえます。

子どもたちにとって地図帳や地球儀との出会いも、その一つと考え、子どもたちの日常のイメージを相互に活用する場をひらけば、「六大陸・三海洋」や世界の図幅の学習も、“子どもらしいイメージ”ですすめることができるように思うのです。

地図帳に登場する

ヒロシさん、アツミさんの“一言”から！

ところで、地図帳『楽しく学ぶ小学生の地図帳最新版』（以下地図帳）には、各図幅の場面にヒロシさん、アツミさんというキャラクターが登場し、その内容につながる“一言”を、「発見」、「問い」、「再認」などの形で発している吹き出しがあります。この吹き出しを手がかりにしてみると、教室の子どもたちのイメージは、どのように広がるのでしょうか。

たとえば、

「みんなが食べたことのある料理はあるかな。」(p.53～54 アジア・オセアニア)



日頃、自分たちが口にする、しゅうまい・マーボー豆腐（中国）、キムチ（韓国）、カレー（インド）を図幅の中に見取るだけで、これを口火にぐんぐん身を乗り出し、「ロシア連邦やオセアニアの国々の料理は？」と、図幅にないものにも関心を向けていくでしょう。

「こんな遠いところでも日本の人が活躍しているんだね。」(p.57～58 アフリカ)



「あの有名な野口英世博士は、アフリカのガーナで亡くなったんだね！」という声に、「地図帳のp.46の東北地方の福島県を開いてみて！…猪苗代湖のところに野口英世生家とあるわよ！」と、返す声もあるでしょう。

「あっ、読んだことのある物語があるよ。」(p.59～60 ヨーロッパ)



ブレーメンの音楽隊（ドイツ）、フランダースの犬（ベルギー）、アルプスの少女ハイジ（スイス）、ピノキオの冒険（イタリア）、ハリーポッター（イギリス）…は、学校図書館の“ベストテン物語”の舞台です。「そうか、地図帳を見ながらもう一度読んでみよう！」と、子どもたちは再び動き始めるのではないのでしょうか。



「えっ、富士山よりも高いところに首都があるよ。」(p.62 南アメリカ)

南アメリカ、ボリビアの首都ラパスは、標高4058mの高地にあります。子どもたちは、あらためて富士山の3776mを確かめながら、「東京の都心部は、0～20mなんだから…このラパスの交通や水道はいったいどうなっているのだろう?」、「もっと、知りたい!」と、触手をのばすでしょう。

ヒロシさん、アツミさんに代わって ぼく、わたしの“一言”を!

p.63の「アメリカ合衆国」の図幅に「あっ、たべものに関係ありそうな地名があるね。」というヒロシさんの吹き出しがあります。しかし、教室の子どもたちは、すぐに食べ物につながる地名を見つけるのは簡単ではないでしょう。「ケンタッキーフライドチキンのケンタッキー州」や、「カリフォルニアオレンジのカリフォルニア州」などを見つけられる子どもたちがいたら、すごいですね。

しばらくすると、“野球通”のAくんが、図幅にあるメジャーリーグの野球チームの分布（絵記

号）をとらえたのでしょうか、「マリナーズのイチローは、ヤンキースに移籍したんだよ!」と、得意げに発言します。すかさず、Bくんが、「太平洋側のシアトルから、大西洋側のニューヨークに移ったんだね!」と、図幅でそれを追うと、Cさんも「どのくらい離れているのかしら。ずいぶん遠くまで移ったのね!」と、これに加わります。すると、「縮尺で計算すると、約4000kmもあるわよ!」と、隣にいるDさんまで仲間入り。そして、ページの右端にある「同緯度、同縮尺の日本」の線画を見ながら、「アメリカは広いから、日本と違って野球チームは移動がたいへんなのね!」と…。

このように、Bくん、Cさん、Dさんが触発されていった「マリナーズのイチローは、ヤンキースに移籍したんだよ!」というAくんのはじめの“一言”は、地図帳に登場する“2人”の仲間になれそうですね。“子どもらしいイメージ”からの広がりを感じられるように思うのですが、いかがでしょうか。



『楽しく学ぶ小学生の地図帳 最新版』 p.63～64 ①アメリカ合衆国